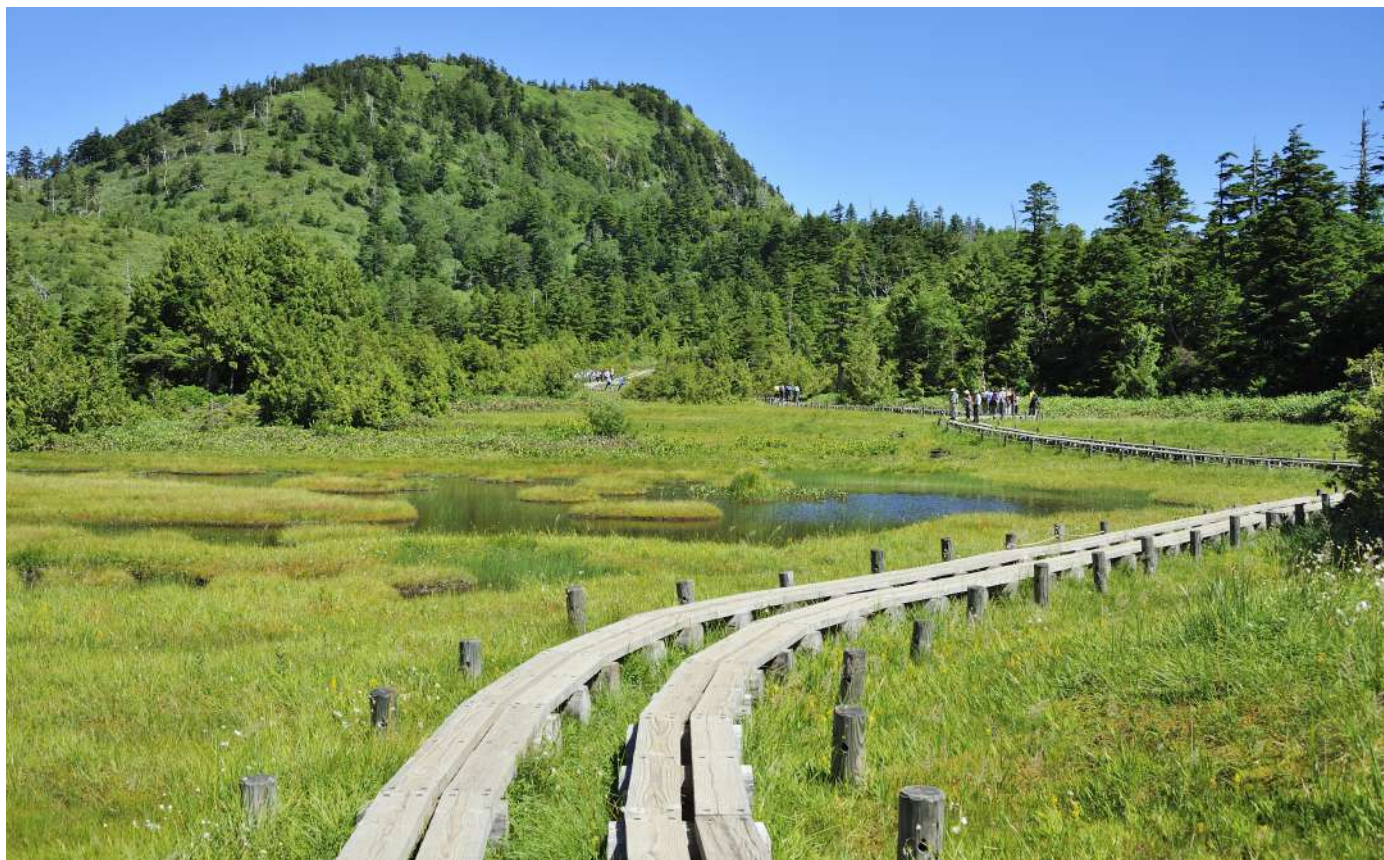


四十八池湿原

しじゅうはちいけしつげん

県指定天然記念物



指定 / 1973 年（昭和 48 年）3 月 12 日

面積 / 約 3.8ha（38,000 m²）

所在 / 志賀高原

四十八池湿原は志賀山（標高 2,037m）と鉢山（標高 2,041m）の間に広がる盆地状の高層湿地です。標高 1,880m の地点に大小 60 以上の池塘（湿原の泥炭層にできる池沼）が点在しています。池には水性の高山植物ミヤマホタルイが育ち、クロサンショウウオやモリアオガエルの生息地ともなっています。またワタスゲ、ミズバショウ、ヒメシャクナゲ、キンコウカといった水辺の湿性植物を豊富に観察できます。

四十八池湿原は、生物相の豊かな湿原として志賀高原の湿原風景を代表するとともに、「志賀高原周辺湿原群」として 2016 年には環境省より「生物多様性保全上重要な湿地」（重要湿地）に選定されています。